

県民芸術文化祭2025

記録集

総合フェスティバル

富山県民会館

オープニングフェスティバル

9/13(土)

午後1時30分～午後4時

全国トップレベルの団体による
舞踊・音楽等の舞台公演

生活文化展

9/13(土)～14(日)

午前10時～午後5時

いけばな・美術作品展示、お茶会、
舞台公演など

わたしも始めたくなる、日。



主催：富山県民芸術文化祭実行委員会
お問い合わせ：富山県民芸術文化祭実行委員会事務局 TEL.076-444-3455



県民芸術文化祭2025の概要

趣 旨

県民の文化活動が一層活発となるよう、県民手づくり、県民総参加の祭典を目指し、平成9年から「富山県民芸術文化祭」を開催しています。

過去27回の開催では、地域の特色ある伝統文化の掘り起こしや、新しい文化の創造を目指した多彩な催しが繰り返し、文化交流の輪が広がったところです。

こうした経緯を継承し、発展させるとともに、一人ひとりのウェルビーイングの向上に資するため、「県民芸術文化祭2025」を開催しました。

主 催

富山県民芸術文化祭実行委員会



富山県民芸術文化祭シンボルマーク
デザイン：永井 一正

「第11回国民文化祭とやま'96」のマスコットとして大活躍した「とや丸」。引き続き、「富山県民芸術文化祭」のシンボルマークとして県内各地を飛びまわります。

開催期間

令和7年4月～令和8年3月

主催事業

総合フェスティバル

●オープニングフェスティバル ●生活文化展

関連事業

地域文化フェスティバル

市町村における地域の特色ある文化の継承・発展、県民参加型の新しい文化の創造、地域間の文化交流・連携の促進を目的として6市(14団体)で開催しました。

第74回富山県芸術祭

一般社団法人富山県芸術文化協会加盟の各団体が、音楽、舞踊の公演や美術展、文芸祭など、芸術文化の多彩な催し(29団体 33事業)を実施しました。

協賛事業

県民芸術文化祭の趣旨に賛同し、その目的に沿った公演事業、コンクール、フェスティバル、展示会、講演会などの文化事業(59事業)を実施しました。

主 催 事 業

オープニングフェスティバル



開催日時

令和7年9月13日(土)

開催場所

富山県民会館ホール

主催

富山県民芸術文化祭実行委員会

開催状況

全国大会で優秀な成績を収められるなど、県内外で活躍されている芸術文化団体等による、舞踊、音楽など幅広い分野の舞台公演が繰り上げられたとともに、国際交流公演としてチェコ・プラハ芸術大学舞踊学科の皆様にも公演いただき、文化交流の輪が広がる華やかで楽しい舞台を繰り上げました。

◆ 出演者数

8団体3個人 計118人

◆ 入場者数

約600人

◆ 運営

とやまこども芸術活動支援協議会及び公募による文化ボランティアの方々に、来場者の受付、会場整理、出演者誘導、舞台設営等の運営業務にご協力いただきました。

祝儀舞

富山県日本舞踊協会の皆さんによる清元「青海波」により、オープニングフェスティバルは格調高く幕を開けました。

開会式典・表彰式

主催者のあいさつや来賓の祝辞に続き、富山県部門功労文化分野表彰式が行われ、表彰状が授与されました。

富山県部門功労文化分野受彰者

(敬称略)

- 佐藤 松博武
- 田中 芙美子
- 平井 勝美
- 丸山 美由紀
- 水口 純治



パフォーマンス

黒川真理さんによる箏と可西舞踊研究所の皆さんによる洋舞のコラボレーションの披露につづき、中村彩実さんと民謡舞踊 華の会の皆さんによる民謡民舞の公演が行われました。これにつづいて、和田朝子記念 Air Ballet Studioと可西舞踊研究所の皆さんに洋舞の演目を披露していただき、会場から惜しめない拍手が送られました。

国際交流公演

プラハ芸術大学舞踊学科の皆さんに、コンテンポラリーダンスを披露していただきました。

音楽公演

NPO法人ミュージカルカンパニーWOZの皆さんによるミュージカルの披露につづき、山元三奈さんのオペラ公演、なんと!吹奏楽団の皆さんの演奏が会場全体を包みました。

フィナーレ

なんと!吹奏楽団の皆さんによる演奏にあわせ、オープニングフェスティバル出演者全員で富山県ふるさとの歌「ふるさとの空」を歌い、大盛況のうちにオープニングフェスティバルは幕を閉じました。



主催事業 生活文化展

開催日時

令和7年9月13日(土)～14日(日)

開催場所

富山県民会館

主催

富山県民芸術文化祭実行委員会

開催状況

いけばな作品が会場を華やかに彩るなかで、美術作品の展示やお茶会、舞台公演などが行われ、様々な分野の団体が垣根を越えた異なる分野との融合を目指しました。

期間中は、多くの方々が来場され、本県の芸術文化の粋を集めた創造的な芸術空間を堪能されました。

◆参加者数

●いけばな出品者及び出品数

11 流派	255人	187作品
一般公募	15人	15作品
計	270人	202作品

●美術作品出品者及び出品数

7分野	82人	82作品
うち富山県青少年美術展入賞作品	22人	22作品
遼寧省書・写真展	30人	30作品
海外こども作品	91人	91作品
計	203人	203作品

●お茶会参加流派等 2流派及び県美術連合会

●舞台公演出演者数

10団体8個人 計149人

●文芸作品出品者

3分野 12人 22作品

◆入場者数

約6,200人

◆運営

とやまこども芸術活動支援協議会、公募による文化ボランティアの皆さんに、会場整理や出演者誘導、美術作品の監視業務などにご協力いただきました。

また、県内華道流派及び県茶道連盟の皆さんには受付業務等にもご協力いただきました。

開会式・テープカット

主催者の挨拶、来賓の祝辞に続き、関係団体の代表者らによるテープカットが行われました。



いけばな展示

県内11流派からの出品と一般公募による出品で構成された270名の202作品を展示し、彩り鮮やかないけばなが、会場全体を包み込みました。それぞれの作品には、作者の個性が溢れ出ており、多くの人々が、足を止めて見入っていました。

また、いけばなワークショップを実施し、来場者にいけばなを体験してもらいました。



美術作品展示

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真を展示し、いけばなと美術作品が融合した芸術空間を創出しました。いずれも県内を代表する作家の作品であり、多くの人々を魅了しました。

また、中国・遼寧省の書・写真展を併催したほか、第50回富山県青少年美術展の優秀作品や、ハンガリー（デブレツェン、ハイドゥ=ビハール県、ハイドゥナーナージュ）、中国（遼寧省、上海市）、ロシア（沿海地方）、アメリカ（オレゴン州）、ブラジル（サンパウロ州）、オーストラリア（タスマニア）の子どもの作成した絵画（91作品）の展示も行いました。いずれの作品も、みずみずしい感性に溢れ、人々に新鮮な感動を与えていました。



お茶会

県内2流派によるお茶会を開催しました。いずれの茶席でも各流派の見事なお手前が披露され、参加された人々は、静寂で厳かな雰囲気の中で、それぞれ茶の世界を堪能していました。

特に1日目は、垣根を越えた異なる分野との融合を目指して、県美術連合会及び県茶道連盟のご協力により、県内美術作家の作品を茶席のしつらえに使用したお茶会を開催しました。さらに、2日目は、高校生以下を対象とした茶道体験コーナーを設け、来場された方たちに気軽に茶道に触れてもらいました。



舞台公演

ホールで行われた舞台公演については、県華道連合会のご協力によるいけばなのディスプレイが舞台を彩るなか、児童、生徒、社会人など多くの皆さんが、洋舞、日舞、邦楽、音楽などのパフォーマンスを披露し、斬新で創造的なステージが展開されました。

また、第42回富山県青少年音楽コンクールの最優秀賞受賞者の皆さんによる演奏も行われ、来場者の方々は、将来が期待される青少年の見事な演奏にしばし聴き入っていました。全体で、10団体8個人の計149人にご出演いただきました。



文芸作品の創作

期間中、県内の詩、短歌、俳句の作家が会場を訪れ、いけばな展示、美術作品展示、お茶会、舞台公演を鑑賞し、その場で感じとった思いなどをテーマに作品を創作しました。いずれの作品も、豊かな感性に溢れ、その場の情景が目に浮かんでくるような素晴らしいものとなりました。

オープニングフェスティバル



富山県日本舞踊協会



黒川 真理、可西舞踊研究所



佐藤松子流 松博会 中村 彩実、民謡舞踊 華の会



和田朝子記念 Air Ballet Studio



可西舞踊研究所



プラハ芸術大学舞踊学科



NPO法人ミュージカルカンパニーWOZ



山元 三奈



なんと!吹奏楽団



フィナーレ「ふるさとの空」

生活文化展

いけばな展示



特別席／酒井 和佳子



池坊富山支部/
山上 登美子、荒山 和子
村田 悦子、田中 宏美
金尾 英子



特別席／中川 雅風



池坊富山中央支部/
田中 英美子、米沢 克子
酒井 美智子、松田 保子
奥村 幸行合



小原流/
山村 和子、柳澤 初穂
五十嵐 万峯、住吉 峯栄
富永 幸子



龍生派/
川合 史光、宮本 厚水
永井 史芳、広瀬 史香
吉田 咲翠



池坊高岡支部/
工藤 泰竹、別所 陽子



草月流四季の会/
河合 里抱、田村 秀華



嵯峨御流富山司所/
井出 嘉津、井出 好泉



大和花道/
栗山 明寿、北清 柳津



池坊魚津支部/
山崎 政子、村谷 ゆかり



草月流 燿の会/
菅原 瑛天、目黒 順苑



草月樹々の会/
水野 洋子、上原 静美



草月流三創会/
白崎 秀畔、薄葉 泉秀



草月流藹の会/
桐野 恵秀、水林 華秀



草月流 葉彩会/
黒川 藤波



古流華盛會/
古瀬 正嗣



古流柏葉會/
湯浅 喜雅



末生流/
岸 寿甫



池坊敬月流/
長井 松栄



古流松藤會/
中川 栄子



嵯峨御流富山春陽司所/
津田 美智甫

美術作品展示



日本画/坂田 潤世



日本画/温井 喜央



洋画/藤井 武



洋画/谷内 徹



彫刻/齋藤 尤鶴



彫刻/長谷川 総一郎



工芸/木村 正和



工芸/増沢 一朗



書/石川 知恵子



書/加古 春在



写真/石塚 安治



写真/井田 実智子

中国・遼寧省の書・写真展

書



写真



第50回富山県青少年美術展入賞作品



海外の子ども作品



オーストラリア(タスマニア)



ブラジル(サンパウロ州)



ハンガリー(デブレツェン、ハイドゥ=ビハール県、ハイドゥナーナシュ)



アメリカ(オレゴン州)



中国(遼寧省、上海市)



ロシア(沿海地方)

お茶会

9月13日^土



富山県茶道連盟(担当:茶道裏千家淡交会富山支部)・富山県美術連合会 コラボ茶会

9月14日^日



表千家同門会富山県支部



茶道体験コーナー
(担当:表千家同門会富山県支部)

舞台公演



沢井箏曲院 さつき会



尾上流 彌生会



(公社)日本詩吟学院認可富山岳友会



Dance be YU



中川モダンバレエアカデミー



田中バレエ研究所



歌声サロン「赤とんぼの会」



プラハ芸術大学舞踊学科



本多 俊



西田 和音



木下 大輔



土合 優音



大垣 妃彩



本吉 紫



中村 花音



堀川 舞斗



片山学園中学校・高等学校吹奏楽部



富山市立山室中学校吹奏楽部

文芸作品の創作

朝のひとさじ

ひとさじのさとうがあれば
にがいくすりものみやすくなる。

ひとさじの ——

ひと匙なんて長らく聞かなかった 料理番組ぐらいかしら

ひとさじ サジ 匙 匙かげん 匙を投げる

スプーンでプリンを食べる少女らは

のびやかに歌う

匙かげんなんて気にしない

スプーンでカレーを頬張る少年らは

長い足を上げて踊る

匙を投げるなんてわかんない

詩

声がかすれても

雨の日には雨の唄をうたい

風の日には風の唄をうたい

足が重くても

遠い道のりを走ったりスキップしたり

時には後ろ向きに歩いたり

朝になれば

誰も吸っていない空気を ひとさじ

昨日までの胸の高鳴り

スポットライトを浴びて弾ける

歌声は空へ

ステップは大地へ

舞台と会場を繋ぐ

拍手を乗せて

高島 夏代

*メリーポピンスの歌詞より
県民芸術文化祭2025オーブンシクフェスティバルの
ミュージカルを観て

短歌

県民芸術文化祭 オープニングに寄せて
フィナーレはステージ客席全員で
高らかに唄う「ふるさとの空」

県民芸術文化祭 生活文化展に寄せて
花々のいのちは萌えて久遠なる
美品とわかつ時空すがしき

木下 晶

一音に魂込めて弾く若き指
強く激しく「月光」の風

一隅の淡き紫つましく

紫苑生花の凜といけあり

高澤 洋子

日常のしがらみなどをサラリ超え
祭り豊かに人の輪広がる

研鑽のあしあと著き今日ここで
何かの手がかり誰かが掴む

金盛 ちか

花いける人のたましひ花にあり
花さまよはず今ここにあり

演目の替はるに合はせスタッフは
黒子の如くに舞台整へる

布施 浩二

いけばなの並ぶフロアに「沼主」といふ
木彫りの蛙ひとと佇む

会場がひとつになりてフィナーレを
惜しみつつ歌ふ「ふるさとの空」

在田 浩美

俳句

かつて学ぶ流派なつかし生花展

芸術の秋や花材も奔放に

菅野 桂子

さはやかや空へそらへとみすずの書

野の風の彩を宿して吾亦紅

野中 多佳子

邦楽の気迫の満ちて秋高し

秋気澄むオペラの声に吸い込まれ

平井 弘美

染められてシャツも花材や文化祭

茶道具の謂れあれこれ花すすき

堀 真智子

案内書は大空の色文化祭

星霜をさらひし調べ律の風

室井 千鶴子

